

さちが丘地区

きらっとあさひプラン

第3期 旭区地域福祉保健計画

平成28年度～32年度

地区別
計画

さちが丘地区は、区の南部に位置し、相鉄線の3駅に囲まれた区域で、二俣川が3筋に分かれるあたりの低地と丘陵地からなる地区です。幹線道路や鉄道が区域を横断しています。

人口は増加傾向にあり、年齢構成は55歳未満の比率が区の平均より大幅に高くなっています。団塊の世代の特出は見られません。



■めざす地区の姿

誰もが安心して豊かに暮らしていけるまち

- ・子ども、高齢者、障害者が交流し、地域が一体となった活動ができている
- ・行事を通して担い手が増えて、顔の見える関係ができている

■目標A

連動する区計画の柱 1 地域の福祉力アップ 3 地域の取組で元気力アップ

地域の担い手を増やそう

■具体的な取組

○身近な公園や町内会館等を利用して、特技や能力を活かせる場をつくろう

【地区社協、老人会、自治会町内会】

○行事の際に地域活動・地区社協をPRする機会（ブース設置、チラシ配布等）を設け、活動を知って参加してもらえるような仕組みをつくろう

【地区社協、自治会町内会】

○他地区の成功事例を見学し、学習する場をつくろう 【地区社協】



子育てサロン「笑顔」



イベントで地区社協PR



地区社協での勉強会

■目標B

連動する区計画の柱 2 安心して自分らしい生活ができる地域づくり

高齢者が生きがいを持とう

■具体的な取組

○地区社協によるバックアップにより、お茶飲みサロンの充実を図ろう 【地区社協、老人会】

○身近な公園や町内会館を有効活用して心や体が楽しくなる健康づくりプログラムができるようにしよう 【保健活動推進員、老人会、地区社協、婦人会】



お茶のみサロン「元気」



小学校体育館で敬老祝賀会



連合大運動会

■目標C

地域で子育てを応援しよう

■具体的な取組

○子育てに悩む親が孤立しないように子育てサロンを継続・拡充しよう

【地区社協、保健活動推進員】

○さちが丘に住んだ子どもが地域に愛着と誇りを持てるような行事・活動をしよう

【自治会町内会、子ども会、地区社協】



子育てサロン「笑顔」



地域の防災訓練のひとコマ



連合盆踊り大会

■目標D

安心・安全なまちをつくろう

■具体的な取組

○弱者を救済する仕組みをつくろう

(災害時要援護者等への対応等) 【自治会町内会、民生委員・児童委員】

○お互いの声掛け等、隣近所の見守りを強化しよう 【自治会町内会、民生委員・児童委員】

○「安心カード」の有効活用 【自治会町内会、地区社協、民生委員・児童委員】



連合防災訓練の救助訓練



赤い羽根共同募金



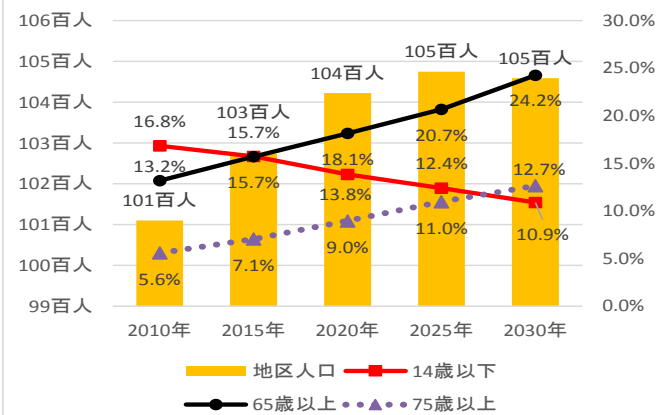
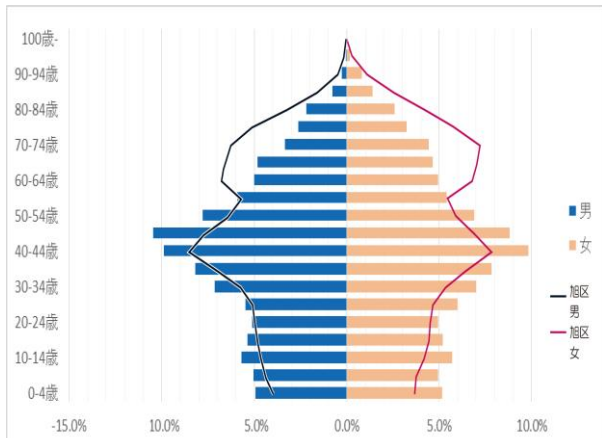
ふれあい福祉まつり



■人口データに見る地区の特徴

- ・人口ピラミッド 2015 年 3 月を見ると、旭区（折れ線）に比べ 30 歳から 54 歳の生産年齢層の比率がかなり高くなっています。また、14 歳以下の層の占める比率も高くなっている一方、団塊世代の特出は全く見られません。
- ・人口の推移では、この 5 年間で約 200 人増加しています。高齢化率は 15.7% で旭区平均より 10% 以上低くなっています。
- ・世帯数はこの 5 年間で約 130 戸増加しています。また、世帯人員は 2015 年で 2.33 人/戸となっています。
- ・地区の将来人口の予測では、2020 年で約 10400 人、2025 年で約 10500 人と増加しつづけると見込まれます。また、高齢化率は 2020 年で約 18.1%、2025 年で約 20.7% になると見込まれます。

※人口・世帯数の数値は町丁目単位での集計のため、町丁目が地区をまたぐ等により、実際の数値と一致しない場合があります。



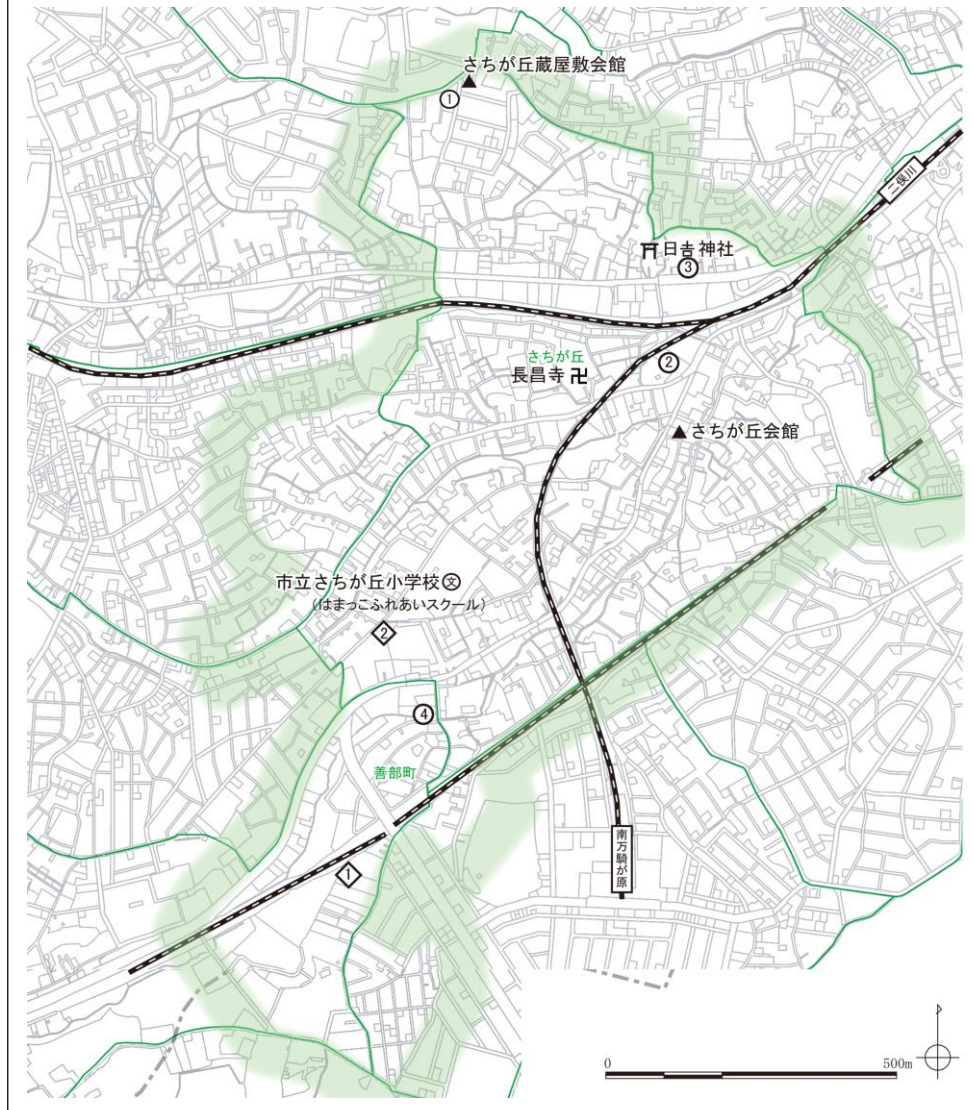
■ 2期計画の振り返り

- ・自治会の事情により、統一的な活動計画が実施できない。
- ・担い手（後継者）の育成が難しい。
- ・行事参加者をもっと増やす必要がある。PR等の工夫が必要。
- ・高齢化に合わせた行事を工夫する必要がある。
- ・老人会新規加入者及び行事参加者が減り、廃止という声も上がった。
- ・独居高齢者見守り、地域の担い手・後継者育成は各自治会の実情の違いから、統一した対応ができていない。
- ・災害時支援体制が整っていない。今後日頃の見守りや信頼関係が必要。
- ・イベント等はできるが、地道な日常活動を支えるサポーターが育っていない。

■地区の福祉課題

- ・団塊の世代、元気な高齢者に自治会・社協活動に参加してもらう必要がある。
- ・健康で長生きを実現するための仕組みをどう作るか。
- ・高齢化社会における「情報提供」「共助」体制（日常、災害時）の構築。
- ・地理的に活動場所が遠いのは高齢者の参加意欲に大きな影響がある。
- ・安心カードの充実、防災マニュアルの整備。

■福祉保健施設の分布



■施設リスト

子ども

認可保育所

- ① 旭はるかぜ保育園
- ② 太陽の子さちが丘保育園

横浜保育室

- ③ マミー保育センター二俣川

幼稚園

- ④ 横浜三輪幼稚園

高齢者

小規模多機能居宅介護

- ① ミモザ横濱南万騎が原

特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム)

- ② サニーライフ南万騎が原